



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

NOVEMBER.1986.IV - 5



1986~1987 THEME

「行動の伴った議論を！」— Deeds Not Words Shall Speak — IP

「心を一つにチャレンジ」— For One And For All Through The Y'S Dom—RD

「明日に向けて力強く前進しよう」— Onward Tomorrow—DG

「Y'S Men! Be Romantic」— P

Thought for the Month

And if you will obey my commandments which I command you this day, to love the Lord your God, and to serve him with all your heart and with all your soul, he will give the rain for your land in its season, the early rain and the later rain, that you may gather in your grain and your wine and your oil. And he will give grass in your fields for your cattle, And you shall eat and be full.

(DEUTERONOMY 11;13,14~15)

もし、きょう、あなたがたに命じるわたしの命令によく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心をつくし、精神をつくして仕えるならば、主はあなたがたの地に雨を、秋の雨、春の雨ともに、時にしたがって降らせ、穀物と、ぶどう酒と、油を取り入れさせ、また家畜のために野に草を生えさせられるであろう。

(申命記第11章13~15節)



今月の聖句によせて 福永嘉彦

みのりの秋、収穫感謝日には赤く熟した柿やみかんなどさまざまな果物を持ちよって礼拝を守り、午後は病人のお見舞などしながら、神の豊かな恵に感謝と讃美を共に捧げる美しい慣しがあります。

一方、今日の世界は人間本位の欲望にのみとらわれて到る所で自然界での神の賜物を人間の手によって破壊し続け、その調和を失わせ、地球上に人間が人間を住み得ないものにしてしまう危険性をもちつつ、神のみ旨が如何なるものであるかを追求しない大きな罪を犯しているのではないかと思います。

申命記のこの力強い言葉に忠実に従って神に真の感謝と讃美を捧げ得る信仰を燃えさせたせて頂くよう上よりのお導きをこの季節に祈りたいものであります。

EMPHASIS THIS MONTH: BROTHERHOOD FUND

BF の月(事業の理解と交流)

11月例会プログラム

日時 11月19日(第3水曜日)

6:30~8:30 P.M

場所 大阪YMCA会館

司会 杉浦姉

1. 開会と挨拶

森会長

2. ワイズソング

一同

3. 聖句朗読

上月姉

4. ゲスト紹介

森会長

5. 日々の糧を

一同

6. 晩さん

7. ゲストスピーチ

柳原一男君

「BFあれこれ」

(中西部BF事業主査)
 堺クラブ

8. お誕生日祝い

9. ニコニコ

10. 各委員会報告、YMCAニュース

11. 閉会 森会長

◎第2例会は11月26日水6:30 P.M 奉仕センターでいつもの通り。お忘れなく。

◎例会当番、山田、上月、田中、坂口、掛江、杉浦の皆さん。準備とあと片付け、特にあと片付けは終了後で時間にせまらねたいへん。当番以外の方のご協力も。

◎11月例会に、クリスマスカードの写真を撮影をいたします。

THE CENTENNIAL

今月のことば

切手はBFのこゝろ

山田孝彦

今、中西部BF事業主査の柳原一男氏(11月例会ゲストスピーカー)宛に、切手の中間集計分を送り出したところです。4,036枚・12,860ポイントが我がクラブの成績です。

先月号でBF目標や切手収集についてお願いしましたが、今回は切手の行方を追ってみましょう。各クラブから集まった切手は、部主査の手によって点検・再整備され、日本区に集結します。日本区では、国際的な切手の専門家(フィラテリスト)である福尾昇一氏(目黒クラブ)に托してこれを現金化し、現金ポイントと合算して、国際協会に提出します。国際本部では一定の基準に従って毎年コンテストが行われます。

さて、そのお金がどう生かされるのか。それはBFすなわちBrotherhood Fundとなり、世界の各ワイズメン

やYMCA相互間の友好促進の資金となります。具体的には、国際大会や各区間の訪問旅行の費用を援助するために支出されます。

本年6月例会にわがクラブを訪問された、インドの、MR. THOMASもBF事業の代表として来日されたものです。その機を活かして私達はエルナクラムクラブとのIBC締結式を持つことが出来、誠に幸運でした。

BFの目標は世界年間15万ドルが理想。「たかが古切手」と軽く扱ってはおれません。又「面倒だから現金で」と割り切るのはワイズの原点を見失うことになりそうです。「無」から「有」のこゝろで、先ず古切手を集めましょう。そして足りない所を現金でカバーする気持を大切にしたいものです。

NEWS IN BRIEF

10月15日(水)第一例会

- 国際メネット事業主任 橋本和子姉(神戸クラブ)から、最近の国際におけるメネット事情について有意義なるスピーチを拝聴した。



- 中国からの留学生雪君、当クラブのサポートに感謝のため来会。書画のプレゼントをいただきました。



左端、雪君、中央、小島君(豊中クラブ)

10月22日(水)第二例会

12月クリスマス祝会決定 12月17日(水)6:00 ~ 8:30
大阪クリスチャンセンター

Statistics (統計)

10月例会出席状況 (在籍会員38名)	ニコニコ 献金	B F ポイント	ファンド 10月末累計
メン	19名	41,500円	253,986円
出席率	50%	10月切手 412P	
メネット	6名	20,000円 (概本姉から)	
コメント	0名	累計切手 13,264P	
ヴィジタース ゲスト	7名	現金 13,110P	
計	32名	右欄の ファンド 繰入れ	

切手提供者

掛江、黒田、河野、鈴木、平田、堀、村田、森、山村

WELCOME!

Visitors & Guests

橋本和子姉	(ゲスト・スピーカー)
古谷美子姉	(神戸クラブ)
今井利子姉	(長野クラブ)
木下百太郎君	()
山本茂雄君	()
薛思峰君	()
小島規以郎君	(豊中クラブ)

Menettes

森、鈴木、山村、杉本、谷川、各メネット

HAPPY BIRTHDAY

桂 知良君	11・11 (1934)
びわ	(大らかな心)
山中 秀男君	11・28 (1933)
おおやまばくち	(明日への期待)
山中ちあきメネット	11・8
やま萩	(待ちましよう・羨望)
山村 幸明君	11・6 (1934)
いそぎく	(小さな夢・空想家)
横山 和子メネット	11・13
茶	(あかるい動作・好感)
坂口 久代メネット	11・15
おけら	(空虚・無心・忍従)
真島 克成君	11・29 (1939)

Hello!

大阪YMCA日本語学校の留学生に誌面インタビューしました。(その1)

YMCAサービス委員長 田中 譲二

- | | |
|---|-----------------|
| ① 自己紹介
国、年齢、性別、日本に来て何年になるか
配偶者の有無など | ③ 日本に来てうれしかったこと |
| ② 日本に来て困ったこと | ④ 日本人をどう思うか |
| | ⑤ YMCAに何を期待するか |
| | ⑥ 日本語学習の目的 |

ゆき しほ はろ
遊 主 芳 (女性)



- ① 日本に来て1年 独身。
- ② 日本語を話せなかったし、習慣も全く違い、友達もいなかったのととてもつまらない生活を過ごしました。
- ③ 色々な国の友達と知り合って、仲良くなれた。日本の四季は、変化に富んでいて、冬には、屋根の上にいっぱい雪が積もります。それを見た時の嬉しさは、言葉に表わせない程でした。
- ④ 礼儀ただしと言ふことを自分の国で聞いたことがあります。日本に来てみると、やはり私の聞いた通りでした。
- ⑤ もっと世界中の人々をYMCAにあつめて、お互いに各地の習慣や文化などを教えあうと、豊かな生活が出来ると思います。

⑥ いまは世界中で日本語を話せる人が多くなって来ました。日本語がわかったら、きっと便利になると思います。そして、日本人の友達に出会ったら、外の人に通訳してもらわなくても大丈夫ですから、日本語を勉強しに来ました。

ほく 成 恒 (男性)



- ① 韓国の麗水から来た30才の男性です。日本に来て1年になります。独身です。
- ② 日本人は、会話をする時、いつも微笑んでいますが、その笑いの意味が分からないので、困ります。
- ③ 日本で、世界各国の人に逢ったり、日本が発展しているのを見たりして、いろいろと学びたいものが、出てきました。狭い視野が、広くなりました。
- ④ 日本人の物の考え方は、まるで韓国の老人の物の考え方の様です。いつも相手に気を使って物を言います。相手のことを思いやっている様で、実は、自分を守っている気持ちが強い様に思われます。韓国にいた時は、日本がどうしてこんな経済大国になれたのか、分からなかったけれども、日本に来てみて分かりました。日本人は、真面目に一生懸命に仕事をします。少なくとも表向きは、楽しそうに働いている様に見えます。しかし、その反面、利己的で道徳的感情、親孝行の気持ち等が弱い様に思えます。

⑤ YMCAには、他の国と交流する機会をもっと作ってもらいたいです。民族と民族のシンポジウム等、民族間の距離を縮める様な行事をもっと作ってもらいたいです。

⑥ 日本の大学院に進学して、水産について勉強したいです。又、日本は経済大国で、世界に進出しているので、日本語もまた、英語と共に国際語となると思います。

Hippensteele, Thomas (男性)



- ① 米国から来た21才の男性です。独身です。(配偶者は要るけど居ないわけですね。)日本にきて2年ぐらいます。1980年に北海道の旭川市で1年間留学して、去年の9月に甲南大学に行きました。その留学が終わって、今月大阪YMCAに入りました。6カ月いるつもりです。
- ② 日本に来て困ったことはありません。勿論、外国での生活が楽なことばかりではないけど、それは覚悟して来ました。何が楽でないかとあえて言う、生活している外国が日本なので、私はいつまでも「外人」だということです。外人としてじろじろ見られたり敬遠されたりするのはどうも気になります。しかしそれは私のせいでもあるかもしれないし、ある面では仕方ないことでしょう。
- ③ 日本に来て嬉しかったことは、まず第一、日本人の友達が出来たことです。第二、自分の国についての考え方が広がったと思います。第三、日本の景色が好きです。

④ 自分の国の人々とほとんど変わらないと思うので、答え難いです。違いはあっても、同じ人間だから、区別(差別)したくないと思います。

⑥ 新聞記者として日本で取材するためです。いつか特派員になりたいと思います。

YMCA TODAY

世界YMCA・YWCA祈禱週の集い

▼ ドイツ、オランダのピースミッションを囲んで

このたび、ドイツとオランダのYMCAからピースミッション10人が広島、神戸で開催される国際平和会議の出席のため来阪します。各々の国で取り組んでいる活動の紹介と交流の時をもちます。ぜひご出席ください。

日時 11月15日 12時～2時

会場 YMCA国際、社会奉仕センター

プログラム ランチョンパーティ・ピースミッション代表者のスピーチ・聖歌演奏…クリス・モモセ氏

会費 500円以上(軽食代)

▼ 金剛コロニー作品展

身体障害をもっている人たちが、自分たちで作成した品々を

展示し、あわせて販売もする作品展が例年通り、11月に奉仕センターで開催されます。ぜひおこし下さい。

期間 11月28日(水)～29日(出)

会場 YMCA国際、社会奉仕センター

作品及び即売品 カーペット・さらき織り・灰皿・花びん・すだれ・コップ・ダイコン・サツマイモ・シイタケなど

▼ Ryugakusei・えいと 開催

奉仕センターでは、現在100名以上の留学生が日本語の勉強にきています。そこで、下記の要項で、留学生支援のバザーを開きます。ぜひ、ご協力下さい。

日時 11月22日(出) 1時～5時

会場 YMCA国際、社会奉仕センター

お願いしたいこと…家庭に眠っている家具、電化製品、本、石けん、タオル、毛布など、留学生に貸与又はご寄付いただけませんか。

問合せ 奉仕センター、斎藤、川村 Ⅲ344-1717

THE CENTENNIAL

IBC WORLD NETWORK



香港ボヒニア前会長からの便り

谷川 寛

彼女と家族全員が1ヶ月前に紐育に移住したそうです。紐育に移ってもワイズメンの動きには、関心をもっており、センテニアルとボヒニアのニュースは知らせてほしいとありました。新住所は：

Ms. Winnie Lung Fung Cheung 676 Carmen Ave.
Westbury, New York, N. Y. 11590 U. S. A.

ハワイ・ヌアヌクラブのブレティン

谷川 寛

近着のハワイ・ヌアヌクラブ（私たちのブラザー）のブレティン、NUUANU Y'S UP に会長E.E. Macarayanのメッセージが載っていました。

日本の精神論、抽象論は一つもなく、きわめて明解です。※谷川兄からのコメントは紙面の都合で大巾に割愛させていただきます。例会で同兄からの補足を願います。

THE PRESIDENT'S MID-YEAR MESSAGE

Caroline Matsumoto, our newest member, was inducted into the Club at Hawaii's 50th Regional Convention held at the Pacific Beach Hotel in Honolulu. Our club roster now stands at thirty.

For the first half of the fiscal year, we provided service to the community by helping with the Pauoa School Fun Night, the Special Olympics, and the Rehabilitation Hospital's July 4th Picnic. Club socials included a first-time-ever Baseball Tailgate Picnic at the Aloha Stadium. Our biggest project for the first quarter of this fiscal year was also a first-time event -- the Nuuanu Y's Men's Club Baseball Card Fair. The project's success surpassed our expectations by netting the Club approximately \$900 in revenues, and fulfilling a need in the community for this type of event. The project's chairmen were PHYLLIS SAKANE and MAURICE SHIMONISHI.

MAURICE was also our full time delegate to this summer's YMCA/Y's Men's Youth Convocation. A third of our membership also participated at various times throughout the Convocation. Our Club also sponsored Cordette Chikamori, Michelle Ching, Jaymes Nito, Paulette Santos, and Traci Wakida as youth delegates from the Nuuanu YMCA.

Our annual Barbeque Chicken Fundraiser was just held September 28th, and it appears to have gone well.

The Club's next major event is the annually sponsored Thanksgiving Dinner for senior citizens in late November.

My goals for the second half of fiscal year 1986-87 are:

1. Induction of ten new members
2. Presentation of an energetic and active new slate of officers for fiscal year 1987-1988
3. To encourage new Club projects
4. To make Club participation meaningful for each member

Respectfully submitted,

E. P. Macarayan

ニコニコ・フリーコメント

今井 利子さん（長野クラブ）

優秀なメネットさんをたくさん持つ我がクラブのメネットさんに聞いていたゞきたい。いいお話でした。感謝。

木下百太郎さん（長野クラブ） 出席させて頂き感謝。

山本 茂雄さん（長野クラブ）

センテニアルクラブの例会にはじめて出席させていただきました。メネットさんの美味なるお手料理は、忘れ得ないものになるでしょう。

小島規似郎さん（豊中クラブ）

初めてセンテニアルクラブ例会に出席を感謝。

多田 幸子 沢山のごちそうありがとうございました。

杉本恭之助 メネットの皆さんの「手作りの味」を賞味しました。誠に苦勞様でした。国際事業主任として“和子ちゃん”の格調高いお話、よかったです。

黒田 巖之 次男潔が2年の研究を終えて無事カリフォルニアから帰国しました。

堀 利満 MANY THANKS FOR GREAT DINNER

中村 幸枝 今日のお話ありがとうございます。

主人も早く良くなりますように。

※紙面の都合で、全員の方を掲載出来ませんでした。

あしからずご了承下さい。

日本区 YMCA サービス事業

(YMCA・ASF事業 1986.9.6より)

(ウエルネス問題について)

第1回役員会において、YMCAサービス事業の基本にあることを確認されました。ウエルネス事業が各YMCAで実行されていくプログラムにどのように強力に支援出来るか。又、次世代の子供達の健康とともに、我々の健康をワイズの立場で考え実行して行こうとしています。今年もメンバーのコンセンサスを得、支持賛同得られる楽しい活動を目論みます。

(今期のテーマ)

1. ワイズの正式の会合の席やYMCAの施設
 の中では喫煙を去除しよう
 これは提唱ですが次世代

NOTES
from
ALL OVER

中西部

2. 分割案について

- | | |
|--------------------|------|
| a. 私鉄沿線案(3又は4ブロック) | 坂口委員 |
| b. YMCAに所属する分割案 | 市川委員 |
| c. 南北二分割案 | 平田委員 |
| d. 三分割プラス案(今村試案) | 今村委員 |
- 各委員から個々の案について説明、資料提出があった。

★池田委員長 本日の委員会の意見としては分割の方向の意見が強いように思われますので、この委員会の意向を各クラブに伝えて、そしてクラブで討議してもらうことにしたい。この委員会の意見を浸透させることは最も重要なことであり、その為に資料を配布することにします。つまり活性化の為に分割再編成が必要であると言う認識に立って今後は進める予定です。尚11月15日までにクラブの総意を纏めて頂き当日開催の委員会で発表して下さい。その為にブリティンにこの委員会の議事録を記載願います。

最後に当委員会諮問事項は中西部評議会で拡大して議決機関としての機能を果たすこととなります。

次回は11月15日(土)14時~17時 YMCA国際、社会奉仕センター会議室で開催いたします。

の子供達のためと奉仕に携わる自らを慎み、目前の健康害への挑戦をしてみませんか。

ロ. 維持会費完納のイニシアティブをとって、YMCAに貢献と義務を果たして下さい。

ハ. YMCA施設などの使用料を正価支払いの促進は、特に中小Yの直接的な支援に繋がります。

ニ. あなたも今期、スポーツ、教養、芸術等、Yのプログラムに参加、自分に挑戦してみませんか。

ホ. 各Yとの交流を密接に……。

主事リーダー、ボランティア、ワイズの事業に参加した方々などを例会招待をはじめ

パーティに積極的に招き、交流を深めて下さい。そこから発見するものが必ず一つや二つはあります。

おとなりさん

日頃のメンバー同士の交流を一段と広げたとこに京滋部があるように、このクラブに入らなければ多分、一生経験出来なかったであろう体験を私達は積み上げることによって、世界が平和のうちに一つとなる事を念願し、お互いを理解する場所としたいものです。

全員が家族ぐるみで参加出来るように、今から貯金を始め仕事のスケジュールを調整しませんか? せっかくワイズメンになられた以上、その大きくて深い意味—ワイズメンとしての—をもう一度かみしめてもらいたいものです。

チャレンジしませんか? 国際大会にどんな形でもいいから参加することに!! ネットもコメントも参加するところから、次のステップが広がります。

例会に出席の義務があるように、出席して始めて世界が広がります。その体験が次の良き体験につながることを信じます。ワイズメンズクラブの催しには、他にも多くの催しがある中でも、積極的に参加する値打ちがあります。無条件に参加することを無心に考えて下さい。

多くの国々の人達と握手を交わしましょう。せっかくワイズメンになった貴君に、どうしても柔らかな醍醐味を味わってほしいのです。私にとってはキャピタルの皆さんが楽しい思い出を作ってくれる為にこそHCCとしての存在意義があります。ホームクラブの人達が楽しんでもらえない国際大会なんてナンセンスですからね。

[私達にとって国際大会とは(BF委員 岡本 尚男)キャピタルクラブブリティンより契約転載]

GOINGS & COMINGS

☆10月26日(日) 西クラブチャーターナイトに、森、黒田、山田、田中君が出席した。

☆中村君医師の不養生で(失礼)入院。一日も早い全快を祈ります。

☆10月26日 日本YMCA大会(東山荘)へ、石川、杉本両君出席した。

CALENDER OF EVENTS

☆大阪長クラブ 創立10周年記念例会

日時 1987年3月21日(祝)午後1時~5時
 場所 河内長野市民会館
 会費 3,000円(ペアーは5,000円)

☆日本区大会

日時 1987年6月6日(土)~7日(日)
 場所 サンルートプラザ東京

Bulletin Board

☆クラブ宛に送られて来たBulletin 日本区、中西部通信その他いろいろの印刷物は、YMCA国際奉仕センター(堂島)にあるクラブ専用書箱(Club Box)に保管しています。

第2例会の時、少し早めに来られて、ご一覧をおすすめします。

☆S60年度「関西ののちの電話」事業決算報告書が、総主事黒田さん(当クラブ)からお礼と共に送られて来ました。Club Boxにあります。今後どうぞ祈って下さい。

NEWS IN BRIER

8月30日(土)第2回中西部活性化検討委員会が開かれ、分割・再編成問題について真剣に討議されました。当クラブ平田委員から分割は南北等を提唱しています。

第3回目は11月15日(土)14:00~17:00pm 国際奉仕センターです。



北九州の旅

杉本 兎子

5月はじめ大阪南港より、フェリーサンフラワー号にて、別府に向った。深い青色の縮緬縞の瀬戸の海を、白い尾を引いて走る船は、全くゆれを感じる事なく、快適な船旅で生憎の雨降る中別府港に着いた。港の前で朝のコーヒーを飲み、その後車で由布院へと向う。青の洞門では、その昔人の手で掘り進んだという、ほこらの中を歩き当時の苦労を偲ぶ。この頃には雨も小降りになり、民芸村、由布院焼窯元等に立寄り、耶馬溪、羅漢寺等を見て廻る。

明るく日はいよいよ山は雨かも知れないと、不安乍らも阿蘇へ向う。外輪山を廻り登る程に、下界は所謂阿蘇谷の千枚棚と呼ばれる、整美された田園が展開される。大昔はこの阿蘇谷は湖の底だったとか。ヤマナミハイウェイの三合目にかゝる頃から、草千里に入り、両側はゆるいカーブの丘陵地帯になる。グリーンフェルトを被せて、幾つも重ねた。見渡す限り続いている草原、そのあちこちで牛の放牧が見られる。5月というかおり高い自然の中で、余す所なく太陽の恩恵を受けられる。この草原の牛達、樹木の無いこうした風景は、絵にも、詩にも、つながって行く様だ。見上げる噴煙はまだまだその

上。更に車を走らせて、砂千里を過ぎた処で、車を置いて頂上へ辿り着く。火口は白い噴煙が立ちこめる。立入禁止の立札があちこちに。火山の様相は凄いとでも云え様か。切り落した様な茶、焦茶、黒と云った色合の、あらわな断層が空から谷底まで、ぐ、ぐうっと切り立って続いている。かと思えば、えぐり取った様な谷底は、かつては火の山の怒りの後とも覚える。緑と云う色の見当たらない異様な切迫感のある、力強い荒々しい山、阿蘇。立ち上る噴煙と、足許がすぐわれ相な無気味な山。地下の何処かで今でも底知れぬエネルギーを、秘めている阿蘇。何だか此処に立っているのが恐ろしい様にも思えて来る。山上を降りて火口の裾を半周すると、噴火の際流れ出した溶岩が、此処迄来て冷却してしまったらしい、デコボコの岩の魂があちこちに、又茶色に変色した大きい焼けた石。あれもこれも、火山と云う巨大なエネルギーのなせる術か。この殺風景なお山にも所々に「みやまきりしま」の遠慮深げな風情が、茶色の土肌に和やかさをそえる。何とか晴れ間を縫ってはじめて見た、私の想像をはるかに超えた雄大な阿蘇を背に、湯煙り立つ別府に向う。

DATES for MAKE-UP & FELLOWSHIP

第1火曜日	サウス	第2土曜日	奈 良
第1水曜日	枚 方	第3火曜日	土佐堀
第1土曜日	紀の川	第3水曜日	センチニアル
第2火曜日	大 阪	第3木曜日	河内・和歌山
第2水曜日	千里・高槻	第3金曜日	泉 北
第2木曜日	堺・田辺		

1986~1987 役員 (Officers)

会 長	森 庄司	担当主事	眞嶋 克成
副会長	藤井 保男	幹 事	杉本恭之助
"	平田 雅利	"	中村 隆幸
書 記	松本 常晃	"	山田 孝彦
"	多田 幸子	直前会長	山田 孝彦
会 計	山村 幸明		

事業委員会 (○は委員長)

BF	○山田, 多田, 柴田, 皆本, 桂
YEEP	○山中, 山村, 森
ASF, YMCA	○田中, 黒田, 安福
IBC	○堀, 松添, 横山, 杉浦, 阪田
Bulletin	○村田, 谷川, 福永
CS	○中村, 上月, 川越, 瀬戸
Program	○鈴木, 谷川, 長安, 村田, 杉浦
EMC	○河野, 掛江, 杉本, 中川
Fund	○平田, 浦野, 藤井, 照尾
Driver	○藤本, 杉本, 小林
MET	○正司, 福永
Menettes	○森

EDITOR'S NOTE WA I ZU MAN 和井寿 満のひとりごと

☆「ブリテンさんは凝り性ね」とは、あるメネットの評。ほめ言葉と素直に受けたが、凝り性とはこだわり、こだわりは凝り固りに通ずと自省している。憲法と評価項目に準拠して、建設と破壊をアウフヘーベンして行く。しなやかさを持ち合せ、いつもブリテンが、クラブの活性化とメンバーや他クラブとの心のかけ橋になれと願っている。

☆前月号の眞島主事の記事がきっかけで、日頃念じていた国際奉仕センターとのコンタクトを留学生誌面ご登場の形で出来たことをよろこんでいる。当り前のことだが、Y'S Mens ClubとはYMCA Service Clubであることを、あらためて思い返している。

(ブリテン 村田貞夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
恒 当 TEL 0797-32-9204